

## 2020年度第2学期始業式校長挨拶

皆さんこんにちは。いつもの年より短い夏休みでしたが、元気に過ごしたでしょうか。新型コロナウイルスの感染は依然として憂慮する状況にあります。生徒諸君も教職員あるいはご家族も、感染したという情報は今のところありません。いつ誰がどこで感染してもおかしくない状況ですが、そのことも含め、大きな事故もなく夏休みを無事に過ごせたことは良かったと思っています。

この夏休み中の話を二つします。一つは部活動の活躍です。それぞれ部活動については、感染予防対策を取りながら段階的に再開していることと思いますが、中学サッカー部については、3年生を中心に練馬区の大会で見事に勝ち抜き優勝を果たしました。おめでとうございます。

それから学校の工事のことです。このコロナ禍の夏休みを利用して、教室棟のトイレを全面リニューアルし、図書館棟、西棟一階も含め、温水洗浄便座を導入しました。実は、昨年からはじめた全生徒との昼休みの校長面談の中で、何人かの生徒からこのトイレの話題が出ていました。早期に実現できてよかったと思っています。なお、校長面談ですが、現在、高校1年生以下はまだ実施出来ていません。今はまだ「密」になりますので、当面は見合わせたいと思っていますが、いつの日か再開できればと考えています。

また、工事に関連して、現在、大学の新校舎11号館の建設工事が進んでいます。来年にかけて、しばらく不便をかけると思いますが、ご理解ご協力をお願いします。

さて、今日は2学期の始業式。放送で行なっています。大講堂で集まって行なう集会が懐かしいですね。1学期の始業式は実施できませんでしたので、一步前進。今日はこのあと、1学期の積み残しだった新入生に対する在校生からの歓迎の辞と新入生の答辞も行ないます。

私の方からは、この2学期に際して、皆さんの協力のもと、共に実現したい学校の方針をお伝えしたいと思います。それは、引き続き感染予防対策をしっかりと取りながら、武蔵の本来の学びの良さを少しずつ取り戻していこうということです。

思えば、6月、休校空けの各学年での「終業の日」に際して、私は皆さんに学校再開にあたって、「不用意なクラスターを作らないように」お願いをしました。そのためには、武蔵の新しい生活スタイル「む・さ・し」を身に付けて欲しい、「むりをしない、サイショに検温、しっかり手洗い」。そして三密を避ける。そうした工夫のもと段階的に学校を再開してきました。

皆さんの自覚と協力のおかげで、ここまで一人の感染者も出すことなく1学期を、そして夏休みを過ごすことができ、良かったなと思っています。

そして、今日から始まる2学期。感染予防対策としては、先ほどもいった「む・さ・し」の徹底。学校に来る段階の部分で、毎朝の検温をしっかりやります。37度を超える場合は無理をしない、させない。それから帰りのときの清掃の徹底。ゴミの持ち帰り。そして消毒。階段の手すりや、トイレ。教室も含めたドアノブやスイッチなどの共用部分は、用務員さんの力もお借りしながら、今後も引き続き毎日消毒をしていきます。それから学校生活においては、何と言っても「三密回避」とこまめな手洗い・手指消毒。

皆さんの「安全・安心」を第一に考えるという基本的なスタンスは、コロナ発生以来、全く変わりません。

私は、「安全」というのはある程度科学的なエビデンスに基づいた客観的な基準であり、「安心」は心の問題だという風に思っています。

ただ、この「安全・安心」のうち、「安全」の基準も少しずつ変わってくるんですね。新型コロナウイルスも、当初の感染確認以来、様々な経験知が出てきました。

例えば、緊急事態宣言のときは、まさに外出を避けるということが「安全基準」でしたが、今は外出も認められています。ソーシャル・ディスタンスも最初の頃は2メートルといわれていたのが、やがて1メートルと変化し、今もそれが前提ですが、特に経験知としては、「三密を避ける」ということが改めてもっとも重要だという風に変化してきています。

実際に、新型コロナウイルス感染者が発生したとき、濃厚接触の認定をする際の保健所からの調査では、「マスクなしで15分以上密な状態になっているかどうか」が大きな基準になっていることを聞きました。したがって、例えば食事の場面で、マスクを外して対面で食べているときは感染リスクは極めて高くなるということです。だから引き続き食事は要注意。2学期も食事は対面を避けるよう徹底して欲しいと思います。

また、マスクについては、運動の際は、マスクをしていては苦しくなりますし、普段の生活でもマスクを外したくなるときもあるかもしれませんが、引き続き、三密を避けるという意識は常にもち、周囲に人がいるときは、原則マスク着用のルールは守ってほしいと思います。それが不用意なクラスターの発生を避けることになります。

それから「安心」の意識は、人によって、例えば本人の抱えている病気リスクなどによっても大きく違います。不安感が100%の人もいれば、0%の人もあります。そのことは十分認識して、自分だけでなく相手のことも思いやりながら、日々の生活を送ることが重要だと思います。「公共心」ですね。

2学期はこうした感染防止対策を講じながら、学校再開のテンポをさらにあげていきたいと考えています。

具体的には、授業についても、一学期はできなかった内容も取り入れる。まさに武蔵の学びを取り戻していく。部活動についても、対外試合を認めるとともに、最終下校時刻を平日は18時、土曜は17時まで遅らせる。なお、用のない生徒は授業終了後、速やかに下校するという原則は引き続き守ってください。また、食堂も段階的に再開し、まずは弁当から始める。学校行事も、2学期の泊を伴うものについては、密は避けられないという判断から実施できないと考えていますが、日帰りの学年単位のものについては注意をしながら実施していければと考えています。

ただ、「慢心」や「油断」はくれぐれも注意してください。新しい武蔵生活のスタイルを守りつつ、武蔵の本来の学びを一緒に取り戻していきましょう。改めて「クラスターは作らない」。そのことへの協力をお願いします。

ただ、そうはいっても、今はいつどこで誰もが感染する状況は変わりません。秋冬に向けてはインフルエンザの心配も出てきます。もし感染者が出ても、それはその人のせい、注意不足のせいではありません。仕方がないことです。そのときはすぐにしかるべき対応をとりたいと考えています。世間では「コロナ差別」というような言葉も言われていますが、「人権感覚」、つまり「人として大切に扱う」という意識は、しっかり持って欲しいと思っています。もし体調に不安がある、ご家族が濃厚接触者になったなどの場合は、気軽に組主任の先生に連絡・相談してください。

最後にもう一つ、全く別の話題ですが、「新生武蔵のグランドデザイン」についてお話します。武蔵は2022年に創立百周年を迎えます。「新生武蔵」とは、百年続いた武蔵の良さを生かしながら、さらに次の百年に向け、進化していこうという決意を表した言葉です。

このグランドデザインについては、昨年度一年間、先生方で議論を進め、とりまとめました。保護者の皆さんには生徒を通じて1学期にお渡しし、またこのたび学校のHPにも載せましたので、生徒諸君も武蔵の学びが目指しているもの、そして今後目指すものを確認してほしいと思います。また、それを見て、何か意見などあれば遠慮なく私のところまで寄せて

欲しいと思っています。

このグランドデザインを作成した時代認識ですが、私は、現代は先行き不透明な時代だと認識しています。そうした時代を生き抜くためには、武蔵で大事にしている自ら調べ自ら考える力が基盤になると確信しています。私たちが今直面している、このコロナ禍はまさにそう。先行き不透明な時代の実験場のようなものです。何が正解かはわかりませんが、自ら情報を集めて、一生懸命考えて判断していくことが重要です。

2学期は、ぜひ生徒諸君においても、日々の武蔵生活の中で、「感染予防対策を取りながら武蔵の学びの良さをさらに取り戻す」ためにはどうすればよいのか、それぞれ自主的・主体的に考えて欲しいと期待します。

それでは、この2学期。クラスターを発生させることなく、武蔵の本来の良さを発揮できる学期になることを心から期待して、私の始業式のあいさつを終わります。

あと一言、言い忘れました。高校三年生、今年の大学入試も依然として不透明な状態だけれど、結局は自分との戦い。王道を歩んで、頑張れ！！